REC News Letter

Ryukoku Extension Center ニューズレター

You, Unlimited

龍谷大学 RYUKOKU UNIVERSITY

No. 115 発行日：2016年11月25日

お知らせ 社会連携・社会貢献活動報告会 2016 を開催します！！

今年度の社会連携・社会貢献活動報告会は、本学が今後、全学的に展開するコミュニティベースドラーニング（地域連携型学習）をキーワードに据え、「学生と地域がともに学びあう教育をめざして」というテーマで開催します。

記念講演会には、少子高齢化で地方創生が叫ばれる中、全国から多数の移住者を集め、「最強の離島」と称された海士町（あまちょう/島根県隠岐郡）の地方創生リーダー山内道雄町長をお迎えしてご講演をいただきます。

また、学生による活動事例紹介や地域で活動をはじめるためのトークセッション（講師：福知山公立大学准教授杉岡秀紀氏）、本学の産官学連携商品を提供する交流会＆ポスターセッションも開催します。学内外から多数の御参加をお待ちしています。



海士町長　山内道雄氏

【開催日時】2016 年 12 月 17 日（土）13:00～17:10
【開催場所】深草キャンパス 22 号館 3 階 301 教室
【申込方法】以下の URL から必要事項を入力の上、お申込みください。
https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/renkei2016/

ご報告 第8回印南かえるのフェスティバル（和歌山県印南町）に参加しました！！

本学が龍谷ソーラーパークを設置している印南町（和歌山県日高郡）の地域活性化イベント「第8回印南かえるのフェスティバル」に参加しました。

このイベントは町内外から約1万人が参加する町をあげてのビッグイベントで、本学は3回目の参加となります。

会場では、本学学生サークルの野外活動部が工作体験ブースで「紙コップ風車」の作成（約 200 個）を地元の子どもたちと行い、本学マスコットキャラクターのロン君、ロンちゃんが会場をねり歩く等イベントを大いに盛り上げてくれました。



工作体験は終始大賑わい



地元のゆるキャラと共演するロン君、ロンちゃん

ご報告 「プレゼン龍（ドラゴン）2016」を開催しました！！

今回が 16 回目の開催となりましたビジネスプランコンテスト「プレゼン龍 2016」を 11 月 19 日（土）に深草キャンパス和顔館 201 教室で開催しました。事前に応募された 17 チームの中から、予選審査を勝ち抜いた 6 チームが本選に出場し、審査員や学内外のオーディエンスを前にプレゼンテーションを行いました。

審査の結果、グランプリとオーディエンス賞は、旅行に行きたくなるような動画作成・動画放映ライセンスの販売を業務内容とするビジネスプランを提案したチーム「旅映社」（代表：高山勝さん／経済学部 4 年生）が獲得しました。準グランプリは、フランチャイジーの経営者スキルを養成し、実践的な経営者としてのスキルを養成し、起業家活動を促進することを目的としたビジネスプランを提案したチーム「ササノウマミ」（代表：岡勇樹さん／経営学部 4 年生）が獲得しました。親和会特別賞と京都信用金庫賞は、チーム「Gokan」（代表：薮本絢さん／国際学部 2 年生）が獲得しました。

また、同時開催された第 11 回高校生ビジネスアイデアコンテストでは、応募総数 435 件の中から優秀賞に選ばれた 3 名の高校生によるプレゼンテーションが行われました。来場されたオーディエンスのみなさんによる投票の結果、最優秀賞には、滋賀県立八幡商業高等学校 3 年生の川上明日香さんが提案した「Cook helpers」が、審査員賞には京都府立京都すばる高等学校 1 年生の安田野々花さんが提案した「あったかつり革」がそれぞれ選ばれました。



ご報告　大津市・越直美市長を迎えて『龍谷大学生×大津市長×企業経営者 “夢の交流会”』を開催しました！！

11 月 2 日（水）、瀬田キャンパス REC ホールにて「龍谷大学生×大津市長×企業経営者 “夢の交流会”」を開催しました。今回の交流会は、本学と大津市人権・男女共同参画課とが連携して開催するもので、本学からは深草・瀬田キャンパスの学生 56 名の学生が参加し、越直美大津市長と 17 社の企業経営者との交流を深めました。企業からの参加は、滋賀県中小企業家同友会大津支部および REC レンタルラボ企業の経営者で、オール大津での取り組みとなりました。

第 1 部では、学生への越直美市長からの講演に加え、市長と学生とが直接対話するミーティング形式の意見交換会が行われました。意見交換の場面では、学生が普段の自らの活動を市長へ発表したり、「海外留学に向けた心構え」や「待機児童ゼロをどのように達成したのか 」、「女性が活躍する社会の実現に対して市長がどのように考えているのか」といった、学生が持つ疑問を市長へ投げかけたりと、市長と学生双方のコミュニケーションを深める機会となりました。また、第 1 部の終わりには、参加学生と市長とが名刺交換を行い、市長が学生一人ひとりに対して声を掛けてくださいました。

第 2 部では、企業経営者と参加学生との交流会を実施しました。学生からの「将来したいこと」「どのような働き方をしたいか」「将来への不安・課題」といった質問に対して、企業経営者が自らの経験や知識をもとに丁寧に答えられていました。交流会の合間には、「大名刺交換会」を実施し、参加学生には多くの経営者との交流の機会を提供しました。

越市長と学生との意見交換



企業経営者との交流会



ご報告　産官学連携の取り組みとして「ものづくり・商業・サービス革新『滋賀県』 成果事例発表会」を開催しました！！

11 月 8 日（火）、クサツエストピアホテルにて滋賀県中小企業団体中央会（以下、中央会）が主催し、本学が共催しました「ものづくり・商業・サービス革新『滋賀県』成果事例発表会」を開催しました。本学産官学連携事業の一環として行った同発表会には、当日企業や関係機関など 140 名の参加者が集まりました。

発表会では、第Ⅰ部の講演として、まずはじめに、野間 圭介 REC センター長（経営学部教授）より、「求められるマネジメント分野の産官学連携」と題した講演が行われ、自らが取り組んできた連携事例や本学の社文系の連携事例をもとに、企業のマネジメントやマーケティングの重要性について紹介されました。続いて、田原 大輔 理工学部機械システム工学科講師より、「医用分野のユニークなものづくりへの研究アプローチ」 と題し、田原講師が研究されている「模擬骨材料」「サポート下着」等の研究シーズが紹介されました。

パネル展示では、成果事例を作成した県内 20 事業者と、理工学部6学科や農学部4学科のシーズ・学科紹介を行い、参加者は成果事例や研究シーズパネルを前に熱心に質問されたり、名刺交換・情報交換をされている様子が見られました。

発表会の最後には、20 事業者のひとつである、辻プラスチック株式会社 辻 喜勝 取締役より「中小企業における未来投資」と題した講演を行い、そして堀川 武 REC 顧問より「ものづくり・商業・サービス革新 成果事例集を作成して」と題して、本事業全般の総括を行いました。講演のあとは、参加者と中央会、本学の教職員が交流を深める交流・懇談会を開催し、盛況のうちに終えることができました。

今後も、本学では、中央会との連携によって、滋賀県内の中小企業支援に一体となって取り組んでいきます。

お知らせ　12 月の REC の活動

12 月　3 日（土） 龍谷ジュニアキャンパス「野球教室」〈瀬田キャンパス〉
12 月　3 日（土） REC コミュニティカレッジ東京「親鸞の高僧和賛を読む」〈明治大学駿河台キャンパス〉
12 月　3 日（土） 福祉フォーラム 2016「子どもの貧困問題に取り組む人たちを支える」
12 月　5 日（月） 第 5 回 REC BIZ-NET 研究会「人工知能や IoT がもたらすビジネスへのインパクトを考える」
12 月　8 日（木） “魅力ある中小企業経営者と魅力ある龍谷大学生との交流会”〈瀬田キャンパス 8 号館 101 教室〉
12 月 11 日（日） 龍谷ジュニアキャンパス「サッカー教室」〈瀬田キャンパス〉
12 月 17 日（土） REC コミュニティカレッジ特別講演会「真田幸村（信繁）の戦い」〈深草キャンパス 3 号館 301 教室〉
12 月 17 日（土） 社会連携・社会貢献活動報告会 2016〈深草キャンパス 22 号館 3 階 301 教室〉

龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

REC News Letter
No.115

REC News Letter は毎月発行。
次回は 12 月 22 日頃発行します。
※バックナンバーは龍谷大学 HP→教職員向けサイト
→REC 京都サイトをご覧ください。

編集：REC 事務部
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

●REC 滋賀 REC ホール （内線 7279）
●REC 京都 紫光館 5 階 （内線 6505）
●REC 東大阪 クリエイション・コア東大阪
産学連携オフィス 2212 号
（06-6748-8228）